

発行日：令和4年5月1日 発行者：葉栗連区地域づくり協議会

一宮市大毛字南出120番地（葉栗出張所内） 電話：28-9001

葉栗連区の人口と世帯数 <2022.4.1 現在> 人口 16,396人（男 8,001人 女 8,395人）世帯数 6,805世帯

☆ 令和4年度各団体役員紹介 ☆

《町会長会》	連 区 長	大塚 文男(笹 野)
	副 連 区 長	野々垣秀彦(中大毛)
	副 連 区 長	宮田 登(富 塚)
	書記・会計	伊藤 満(更屋敷)
	監 事	大橋谷三郎(西 山)
《民生児童委員協議会》	会 長	大山 博
《葉栗公民館》	館 長	小島 博和
《児童育成協議会》	会 長	内藤 隆治
《社会福祉協議会葉栗支会》	支 会 長	大塚 文男
《葉栗老人クラブ連合会》	会 長	浅野 由久(東大毛)



上記の方が葉栗連区各団体役員に就任されました。連区内 23 町内会の協力のもと、地域活動にご尽力いただきますよう一年間よろしくお願いいたします。

☆ 新葉栗連区長就任あいさつ ☆

令和4年度の葉栗連区の連区長を務めることになりました笹野町内会長の
大塚文男です。

新型コロナウイルスが収束しない中、コミュニケーションができない環境に置かれています。

その中で、町会長会のメンバー、各種団体、地域づくり協議会と連携し、人と関わる機会を増やしていければと考えています。

葉栗連区は、木曾川が流れる自然豊かな環境です。この特性を活かし子供から高齢者までいきいきと暮らせる地域を目指し、健康で安全・安心なまちづくりに努めて参ります。

1年間頑張りますので、よろしくお願いいたします。



☆ 新民生児童委員協議会会長就任あいさつ ☆

葉栗連区民生児童委員協議会の会長に就任しました大山博です。

令和4年、5年の2年間会長を務めさせていただきます。

近年、自然災害、新型コロナウイルス、後期高齢者が2200万人を超える2025年問題などクローズアップされています。

民生児童委員の役割も地域に根ざした活動が期待され、厚生大臣から委嘱をされたボランティア団体として、見守りネットワークを継続維持できる形を構築していきたいと思っております。

これには町会長会や地域づくり協議会、各種団体の皆さまの力をお借りしながら、活動を展開させていただきますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



☆ 植樹したエドヒガンザクラが咲きました ☆

1月22日、光明寺緑地公園のサイクリングロード沿いに植樹しました「エドヒガンザクラ」が元気に咲きました。今年は寒い日が続き開花を心配していましたが、3月13日ごろから咲き始め、他のシダレザクラやヤマザクラに続き、初咲きの初々しい花が春のひと時を楽しませてくれました。

これからも、名勝及び天然記念物の木曾川堤（サクラ）とともに末永く保全していきたいと思っております。皆さんも来年に向けて保全活動にご協力をお願いします。



☆ 木曾川堤のサクラを 10 倍楽しむ講座を開催 ☆

3月20日（日）、木曾川堤（サクラ）の種類と見分け方と題して、138タワーパーク管理事務所及び木曾川堤周辺で愛知県・文化財室の洲崎和宏氏によるわかりやすい講座が開かれました。エドヒガンザクラとヤマザクラの花からの見分け方や幹の皮から見分ける方法など、今まであまり感じていなかったサクラの生態について理解できた有意義な講座でした。

木曾川堤（サクラ）は、今から136年前の1885（明治18）年に植樹され、1927（昭和2）年に国の名勝及び天然記念物に指定されました。

岐阜県揖斐郡池田町の「^{かまがたに}霞間ヶ溪（サクラ）」も名勝及び天然記念物に指定されています。本巣市根尾の「^{うすすみ}根尾谷淡墨ザクラ」、高山市一之宮町の「^{がりゅう}臥龍のサクラ」は、天然記念物に指定されています。「名勝及



び天然記念物に指定されているのは、「木曾川堤（サクラ）」のほかに「^{かまがたに}霞間ヶ溪（サクラ）」、群馬県藤岡市の「三波川（サクラ）：コバサクラ」の3か所しか全国にはありません。今後は、この貴重な財産を北方連区、浅井連区とともに保全活動を展開したいと考えています。



木曾川堤（サクラ）には、

- エドヒガンザクラ・・・山地に自生し、葉は互生で、がく筒は楕円形。葉柄・花柄とも軟毛がある。
- シダレザクラ・・・エドヒガンの園芸種で、特徴はエドヒガンと同じ。枝が垂れ下がっているのが特徴。
- ヤマザクラ・・・日本の野生ザクラの代表。高さ15～25mになり、幹は美しく、横に流れる縞模様ができる。老木になると模様が消える。春先、花は葉と同時に咲く。

以上の3種類の桜が、並木になっていることから天然記念物に指定されています。

☆ 君もサバイバルマスターになろう！ チームビルド編 ☆

3月13日（日）に138タワーパーク管理事務所内において、小学生を対象にした「72時間サバイバルマスター講座・チームビルド編」が開催されました。

今回の講座では、災害時に活用ができるスキルの習得やチームでの役割分担及び情報収集・整理の方法を体験することを目的に、10名の参加者にて講座が進められました。

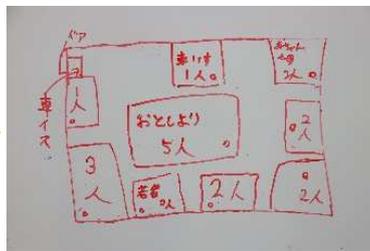
プログラムの一例を紹介します。

会議室を避難所に想定し、まず参加者の避難所内の配置場所を決めました。

その後、「①お年寄りグループ5人が避難して来ました」、「②車いすに乗った人が避難して来ました」、「③赤ちゃんを抱いたお母さんが来ました」

「さて、避難所のどこに配置したらいいですか？」その後、「④収容人数がオーバーしました。若い人たちが指示を聞かなくなりました。どうしたらいいですか？」など、次々と変化する避難所の状況に対して、参加の子供たちは、配置場所の優先順位などについてみんなと話し合いながら、進行役を担う人、ホワイトボードに意見を書く人、配置図を描く人など、それぞれに役割分担をし、対応方法について取り組みをしました。

コロナ禍の中にあって、避難所運営は難しさが増してきています。こうした経験は、チームワークの大切さを学ぶ場としても、参加者の皆さんから好評を博していました。



【小型家電の回収ボックスに使用済みインクカートリッジを追加】

葉栗出張所玄関内右側に設置

＜回収できるもの＞

携帯電話・電子辞書・電卓・デジタルカメラ・ビデオカメラ・ACアダプター・ポータブルナビ・電子ゲーム機器・電気シェーバー・携帯音楽プレーヤー・加熱式たばこ・電動歯ブラシ

ただし、
投入口（縦15cm横30cm）に、入るものが対象です。

今回、使用済み「インクカートリッジ」が追加されました。

捨てればゴミ、
リサイクルにご協力願います。



葉栗連区防犯カメラ設置マップ



※⑬～⑯は、令和4年度上期中に設置予定